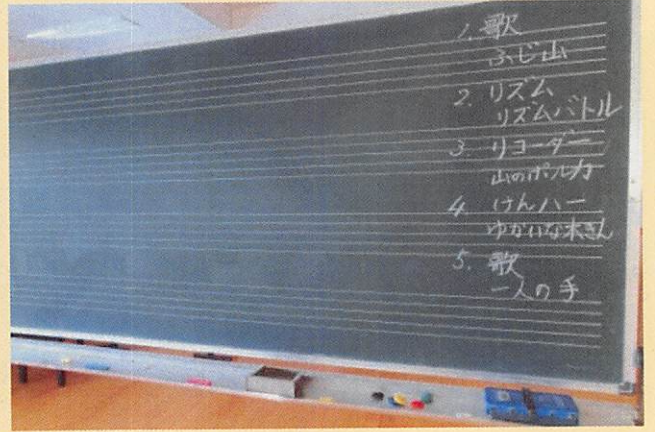


学習内容を  
を  
明示。

授業の流れを板書しておく

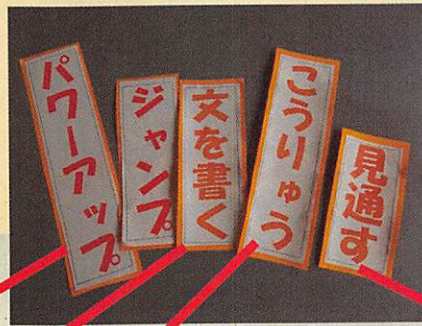


授業の流れをあらかじめ板書しておきます。  
音楽室に入ってきた子どもたちはすぐに黒板を見て「やったあ、〇〇をするんだ。」と声をあげました。  
何を、どの順序でやるかがはっきりしていることで、  
集中力と意欲が最後まで途切れませんでした。

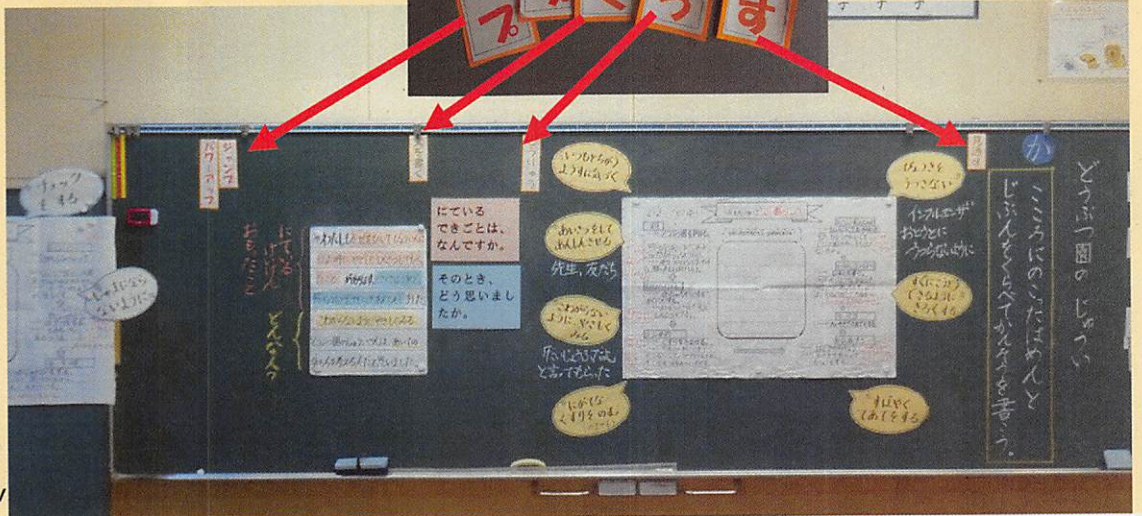
一関市立  
萩荘小学校

学習の  
流れを  
明示。

黒板で、一目瞭然



学習の過程を5つのステップとして表示し、黒板にレイアウトします。  
これは、指導案の様式とも一致しています。



奥州市立  
常盤小学校



目標があると、挑みたくなる。

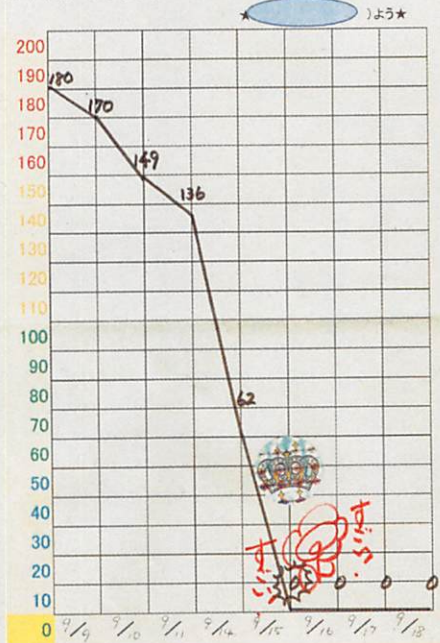
奥州市立  
常盤小学校

見通しが、目標に。目標が取り組みに、取り組みが手応えになる。

飲みきれなかった牛乳。計量して数値で確認しました。すると、「自分から・自分で」という気持ちがありました。



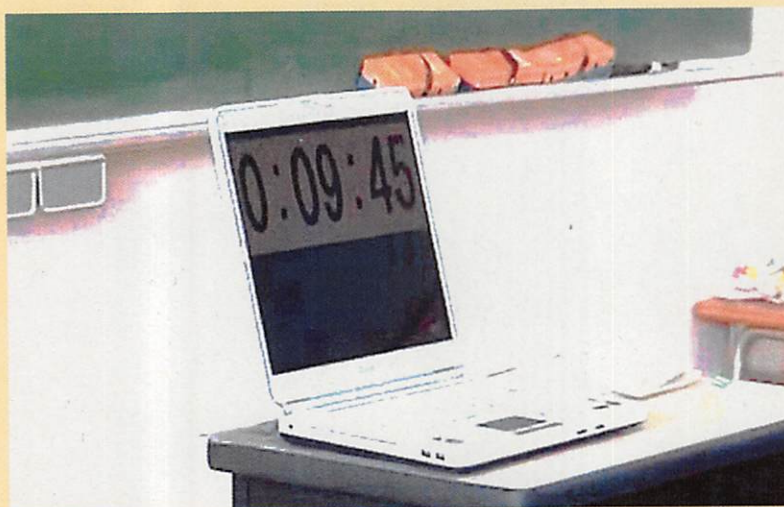
★牛乳がんばりグラフ★



時間の目処が活動の質を支える。

岩手県立  
紫波総合高等学校

クラス全員が同じ時間を共有する。



個別のワークや、グループワークの時には、活動時間の目処をカウントダウンする。専用の機材でなくとも手持ちのノートパソコンで十分。



⑥

整理整頓  
の力  
を  
育てる  
工夫



片付けの場所が分かる工夫～絵で表示する



遊具の置き場を絵で表示することで、何をどこに片付けるのか、一目で分かるようにする。

生活  
を  
分かり  
やすく

附属幼稚園



生活  
を  
分かり  
やすく

附属幼稚園

片付けの場所が分かる工夫～ラインで表示する



積木などの大きな遊具も、片付ける場がわかるよう床にビニールテープでラインを付け、その中に自分たちで片付けられるようにする。

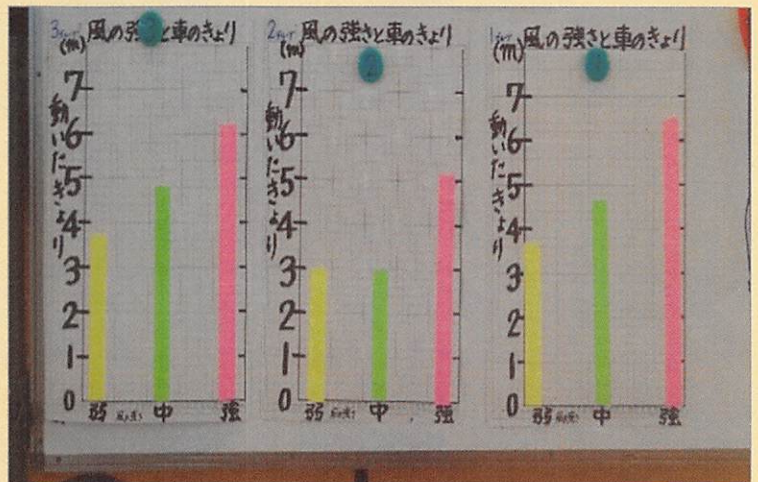
見て、  
分かり  
やすい  
ように。

①

奥州市立  
岩谷堂小学校

意味と色の対応により、視認性向上

車を動かすための風の強さを、「弱・中・強」という文字だけではなく、グラフの色を変えて提示した。





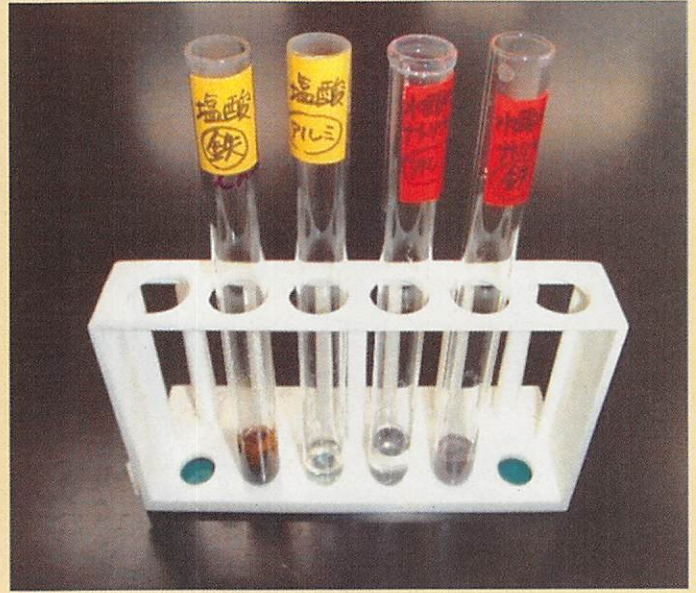
見て、  
分かり  
やすい  
ように。

②

奥州市立  
岩谷堂小学校

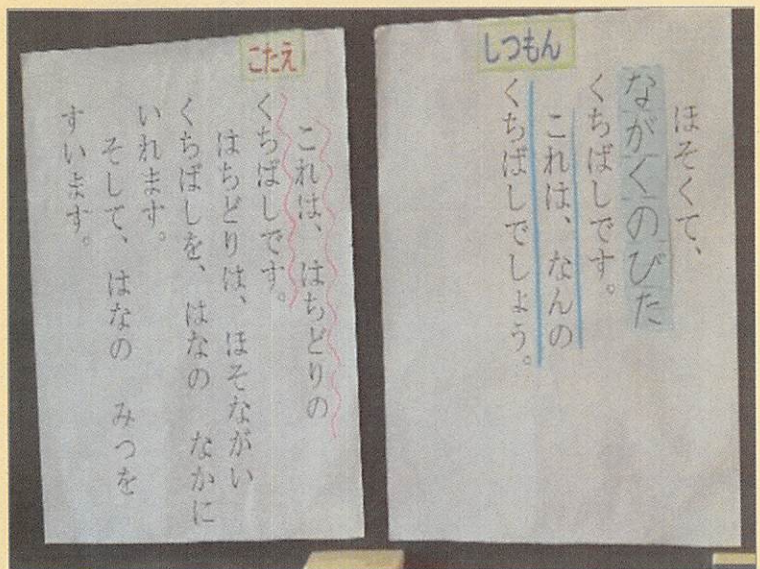
意味と色の対応により、視認性向上

酸性の塩酸とアルカリ性の水酸化ナトリウムを用いた実験。酸性を黄色、アルカリ性を赤で印をつけることで実験操作のミスを防いだ。



意味と色の対応により、視認性向上

「しつもん」「こたえ」という文字の色とサイドラインの色を統一した。



見て、  
分かり  
やすい  
ように。

③

奥州市立  
岩谷堂小学校



一対一  
対応  
が  
わかりや  
すい。

奥州市立  
常盤小学校

ぬれた手袋も乾きやすいという機能も兼備。



洗濯バサミには、夏は軍手、冬は手袋をつけています。  
洗濯バサミに番号がついており、誰のものかがすぐ分かります。

⑦

仲間づくり・自己  
肯定感を  
高める  
工夫

